

公共事業新規箇所評価調書

評価確定日(平成29年8月30日)

事業コード	H29-建-新-01		区 間	● 国庫補助 ○ 県単独			
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課			
事業種別	一次改築(現道拡幅)		班 名	調整・企画管理班 (tel)018-860-2483			
路線名等	主要地方道 大館十和田湖線		担当課長名	参事(兼)道路課長 石川 浩司			
箇所名	大館市雪沢		担当者名	副主幹(兼)班長 柳沢 悟			
プランと連関	政策コード	03	政 策 名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略			
	施策コード	05	施 策 名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進			
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築			
1. 事業の概要							
事業期間	H 30 ~ H 37 (8 年)		総事業費	12.3 億円		国庫補助率	65.45
事業規模	延長 L=2,930m 幅員 W=6.0(8.5)m (1.25-3.00-3.00-1.25)						
事業の立案に至る背景	<p>主要地方道 大館十和田湖線は、大館市と国立公園である十和田湖を最短で結んでおり、物流や観光などの産業振興や、エコタウン計画関連の施設を多く結ぶ重要な路線である。</p> <p>しかし当該区間は、幅員狭小(最小幅員5.4m)、急カーブ(最小曲線半径40m)があり、大型車同士のすれ違いに支障をきたしており、積雪時にはその度合いがさらに増し、事故多発の要因となっている。</p> <p>道路利用者の安全と、第二次緊急輸送道路にも指定されている本路線の機能を確保するため、早急に整備を実施する必要がある。</p>						
事業目的	<p>○大型車のすれ違い困難箇所の解消(観光道路・物流道路)</p> <p>○第二次緊急輸送道路としての機能確保(防災・危機管理)</p> <p>○積雪時の安全確保、事故の解消(安全・安心の確保)</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H 30 年度	H 31 年度	H 32 年度	H 33 以降
	事業費		1,230,000	63,000	98,000	227,000	842,000
	経費内訳	工事費	1,069,000			227,000	842,000
		用補費	98,000		98,000		
		その他	63,000	63,000			
	財源内訳	国庫補助	805,035	41,233	64,141	148,572	551,089
		県 債	382,200	19,500	30,400	70,500	261,800
その他							
一般財源	42,765	2,267	3,459	7,928	29,111		
事業内容			路線測量、道路・橋梁詳細設計、地質調査	用地測量、用地買収	本工事	本工事	
調査経緯	○平成28年度 道路概略設計						
上位計画での位置付け	○第2期ふるさと秋田元気創造プラン重点戦略(観光・交通戦略)の「地域間ネットワークの構築」を推進する事業						
関連プロジェクト等	○大館市総合計画 計画の「4つの重要な視点」に「交流人口の拡大と地域連携DMOによる賑わいの創造【物語づくり】」が挙げられており、当該路線はこの視点に直接寄与する重要な路線となる。						
事業を取り巻く情勢の変化	<p>○大館十和田湖線工事促進期同盟会より道路整備の要望書が提出(平成26年~)</p> <p>○大館市、小坂町、北秋田市の観光促進を目的とした秋田犬ツーリズム(地域連携DMO)が発足(平成28年)</p> <p>○小坂JCTの供用開始(平成25年)により日本海沿岸東北自動車道と東北自動車道が直結、緊急時の迂回路としての役割を担う路線である。</p>						
事業効率把握の手法	指 標 名	県管理国道改良率					
	指 標 式	改良率(県管理国道改良済延長/県管理国道実延長)					
	指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有	● 無	
	目 標 値 a	94.5 %		データ等の出典	道路課調べ		
	達 成 値 b	93.8 %					
達 成 率 b/a	99.3 %		把握の時期	平成 29 年 4 月			

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	○最小曲線半径が40mの急カーブ箇所は、大型車とのすれ違い困難、旅行速度の低下など道路利用者の安全に支障をきたしている。 ○当該工区では近年、4件の事故が狭小幅員区間及び急カーブ箇所が発生し、早期に整備する必要がある。 ○当該工区の前後は改良済みであり、一連の効果を発揮するため、早期事業化が必要である。	23 点
緊 急 性	○秋田県道路整備計画において、日沿道を補完する機能や、国道7号と連携して産業や観光に寄与する道路ネットワークとして位置づけられている。 ○大館市総合計画の4つの重要な視点である「地域連携DMOによる賑わいの創造」に寄与する路線で、沿線には「康楽館」「大館樹海ドーム」「小坂鉄道」など多くの観光資源が立地している。 ○日沿道が通行止めの場合の迂回路であり、リダンタンシー確保のために早期整備が必要である。	20 点
有 効 性	○第二次緊急輸送路に指定されており、日沿道や東北自動車道へのアクセスに寄与する路線でもあることから、整備による機能強化が期待される。 ○二次救急医療施設である大館市立総合病院へのアクセス路線であり、整備による救命率の向上が期待される。	12 点
効 率 性	○事業の費用便益比は3.71であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 12.1億円 ・総便益の現在価値 44.9億円 ○計画交通量は3,100台/日である。	13 点
熟 度	○大館十和田湖線工事促進期成同盟会より道路整備の要望書が毎年提出されている。	15 点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 判定ランク I であり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	83 点
総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 評定結果から事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

4. 財政課長意見

意見内容	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

5. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード (H29 - 建 - 新 - 01)
箇所名 (大館市雪沢)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題					
	道路構造上の欠陥箇所数	<ul style="list-style-type: none"> 車道幅員<5.5m 最小半径<100m 最急勾配>5% 冬期堆雪巾なし 	3箇所以上	17	17	<ul style="list-style-type: none"> 車道幅員<5.5m 最小半径 40m 冬期堆雪巾なし 計3項目
			2箇所	12		
			1箇所	7		
			0箇所	0		
	道路環境上の欠陥該当項目	<ul style="list-style-type: none"> 現道の混雑度≥1.0 現道の旅行速度≤30km/h 現道の事故率≥50件 通学路指定で歩道なし 重大交通事故が発生 	5件該当	18	6	<ul style="list-style-type: none"> 重大交通事故が発生 事故率=50件 計2項目
			4件該当	14		
			3件該当	10		
			2件該当	6		
			1件該当	3		
			該当項目なし	0		
	計			35	23	
	緊急性	道路をとりまく環境等				
関連事業の有無		<ul style="list-style-type: none"> 県の主要プロジェクト 地域振興プロジェクト ほ場整備等の他事業 	あり	10	10	<ul style="list-style-type: none"> 秋田県道路整備計画 大館市総合計画
			なし	0		
緊急度の高い課題の有無		<ul style="list-style-type: none"> 老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等 	あり	10	10	<ul style="list-style-type: none"> 日沿道の迂回路
			なし	0		
計			20	20		
有効性	道路の位置づけ					
	緊急輸送路		第1次輸送路	8	7	<ul style="list-style-type: none"> 第2次輸送路
			第2次輸送路	7		
			第3次輸送路	6		
			指定なし	0		
	救急医療施設へのアクセス		直接アクセスする	7	5	<ul style="list-style-type: none"> 二次救急医療施設 大館市民病院 (大館市)
			間接的に補充する	5		
アクセスへの貢献は小さい			1			
計			15	12		
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益比 (B/C)		1.0以上	10	10	<ul style="list-style-type: none"> B/C=3.71
			1.0未満	0		
	計画交通量		5,000台/日以上	5	3	<ul style="list-style-type: none"> 3,100台/日
			1,000台/日以上~5,000台/未満	3		
1,000台/日未満			0			
計			15	13		
熟度	地元の状況					
	地元ニーズ		文書要望あり	10	10	<ul style="list-style-type: none"> 大館十和田湖線工事促進期成同盟会より要望書あり
			口頭要望あり	5		
			要望なし	0		
	地元の協力体制		あり	5	5	<ul style="list-style-type: none"> 地元から要望有り
なし			0			
計			15	15		
合計				100	83	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		